

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587039301	科目番号 / Subject code	05870393
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12521_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (人間と社会) / Human and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	永田 聖二 / Nagata Seiji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seiji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 本館 6階 612研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2310		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜?X限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標/Course goals	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験100%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫) チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	経済学の課題と対象		
第2回	流通過程と重商主義思想		

第3回	アダム・スミスと国富
第4回	アダム・スミスと生産過程
第5回	リカードウと労働価値説
第6回	リカードウと賃金論
第7回	リカードウと地代論
第8回	経済数学の基礎1：微分法
第9回	経済数学の基礎2：最適化問題
第10回	経済数学の基礎3：偏微分と全微分
第11回	ミクロ経済学：消費者行動の理論
第12回	マクロ経済学：所得水準の決定と乗数効果
第13回	経済数学の基礎4：ベクトルと行列
第14回	経済数学の基礎5：連立方程式と逆行列
第15回	産業連関分析
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587039701	科目番号 / Subject code	05870397
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12531_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (暮らしと科学)COC+ / Life Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	及川 大地 / Oikawa Daichi, 永田 聖二 / Nagata Seiji, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	及川 大地 / Oikawa Daichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	及川 大地 / Oikawa Daichi, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	LACSメールを使用		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 食物学研究室 教育学部 保育学研究室		
担当教員TEL/Tel	2375		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜事前にアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	私たちの「食生活」および「保育」の事項を社会的問題点も踏まえて科学的な視点から捉え、自分 なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら「食生活」および「保育」に関する事項を科学的視点で捉える意識を身に付け、社会的問題点 を解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価方法 試験：40点 発表：40点 発表中の質問は1点ずつ加点する。 発表会の欠席は一日当たりマイナス5点とする。ただし、やむを得ない事情による欠席はこの対象 としない。 参加・体験学習・質疑応答の取り組み：20点 <要注意> 16回開講で6回以上欠席した者は失格とする。  成績評価基準 「試験」「発表」および「参加・体験学習・質疑応答の取り組み」で評価し、合計が60点以上 を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	前後半でそれぞれ試験があります。授業内容をしっかり復習してください。 また、参加学習・発表はチームで事前学習が必須です。		
キーワード/Key word	日常生活の食 (食品・栄養・食品衛生)、食環境、保育、子ども、育児、家族、健康		

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>資料は、LACSに掲載したものを各自必ず印刷してきてください。LACS内の資料は紙媒体で配布しません。 追加資料は適宜配布します。</p> <p>&lt;参考書&gt; (興味のある学生のみ下記を購入してみてください。) 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品学総論」 辻英明・海老原清 編</p> <p>講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「基礎栄養学」 木戸康博・中坊幸弘 編</p> <p>講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品衛生学」 増田邦義・植木幸英 編</p> <p>日本小児医事出版社 「保育保健の基礎知識」 巷野悟朗 監修 日本保育園保健協議会 編</p> <p>八千代出版社 「現代保育と子育て支援?保育学入門?」 亀谷和史 編著</p>
<p>受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.</p>	<p>本内容に興味のある学生。 暮らしの中に潜む科学的現象および社会的問題を少しでも解明したい学生。 自ら考え、疑問を持ち、まとめ、発表する努力を行う学生。</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考 (URL) /Remarks(URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>身の回りの食および保育に関して、日ごろから興味を持ち、科学的に考える意識を持ってください。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>ガイダンス 暮らしと科学(食生活の科学)(及川大地)</p>
<p>第2回</p>	<p>長崎県を中心とした食品の栄養素・塩分の摂取(及川大地)</p>
<p>第3回</p>	<p>感覚機能と食品の保存法(及川大地)</p>
<p>第4回</p>	<p>前半 参加学習?@ (及川大地)</p>
<p>第5回</p>	<p>前半 参加学習?A (及川大地)</p>
<p>第6回</p>	<p>前半発表1日目(及川大地)</p>
<p>第7回</p>	<p>前半発表2日目(及川大地)</p>
<p>第8回</p>	<p>前半試験(及川大地)</p>
<p>第9回</p>	<p>子どもを取り巻く諸問題(宮津寿美香)</p>
<p>第10回</p>	<p>長崎県における子育て支援(宮津寿美香)</p>
<p>第11回</p>	<p>子どもの育ちを支える環境(宮津寿美香)</p>
<p>第12回</p>	<p>後半 参加学習?@ (宮津寿美香)</p>
<p>第13回</p>	<p>後半 参加学習?A (宮津寿美香)</p>
<p>第14回</p>	<p>後半発表1日目(宮津寿美香)</p>
<p>第15回</p>	<p>後半発表2日目(宮津寿美香)</p>
<p>第16回</p>	<p>定期試験(後半試験)(宮津寿美香)</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587040101	科目番号 / Subject code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12541_005		
授業科目名 / Subject	自然と暮らし (数と自然) / Number and Nature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	杉野本 勇気 / Yuki Suginomoto, 永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	杉野本 勇気 / Yuki Suginomoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	杉野本 勇気 / Yuki Suginomoto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	全学部 1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suginomoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 3 1 4		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12 : 50 ? 14 : 20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業では、諸問題を解きながら以下の内容を学ぶ。?自然数、整数の性質?A数の拡張?B図形の包摂関係?C数学的な論証 こうした学習を通して、論理的思考力とは何かを大局的に考え、様々な場面への応用されていることを実感し、数学の良さや魅力を感じることを期待する。		
授業到達目標/Course goals	自然数や整数についての性質を理解し、数学的な証明ができるようになる。 数の拡張において、関係を説明できるようになる。 図形の包摂関係や認識の仕組みを理解できるようになる。 論理的思考力とは何かを実感することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点。 60点以上が合格。 平常点は授業中の発表回数を主とし、随時行う小テスト、レポート、授業への寄与などをもとに評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義と演習を並行して行う。演習は前に出て問題を解いてもらう。		
キーワード/Key word	数学的リテラシー, 論理的思考力, 活用		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎回の講義ノートをしっかりつくること。 参考書として高校数学の教科書があるとよい。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で扱った内容をさらに深める課題を自ら探究し、レポートしてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス、数学と自然
2	数
3	数の拡張
4	有理数(分数と小数)
5	具体物から図形
6	図形の分類
7	図形の性質
8	図形の論証
9	代数的な論証
10	写像
11	有限と無限
12	無限の論証
13	帰納と演繹
14	数学的帰納法
15	論理的思考力とは
16	試験